

*L: 聞くこと R: 読むこと SI: 話すこと (やり取り) SP: 話すこと (発表) W: 書くこと

月	課	配当時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	Re	3	Review Lesson Ms. King's Trip with Her Friend	1~2	○	○			◎	キング先生の旅行について概要を聞き取ったり、自分の予定を書いたりすることができる。 【書くことーア】 ※既習の言語材料 ●地域・旅行：予定や計画を述べる、ものがあることを説明する、しなければならないことを説明する、数について質問する ★国語：正岡子規の俳句 ★社会（地理）：日本の地理（しまなみ海道）	聞くこと	【知識】 be going to, will, must, have toなどを使った文やThere+be動詞+～の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】 be going to, will, must, have toなどを使った文やThere+be動詞+～の文の特徴やきまりの理解を基に、ゴールデンウィークにすることをテーマにしたスピーチの内容を捉える技能を身に付けている。		
		1	Grammar	-	-	-	-	-		※既習の言語材料	書くこと	【知識】 be going to, will, must, have toなどを使った文やThere+be動詞+～の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】 週末やゴールデンウィークなどの予定について、be going to, willなどを用いて正しく書く技能を身に付けている。		
	1	6	Lesson 1 Service Dogs	1~3	◎	◎	◎	○	◎	盲導犬や聴導犬などの話を聞いたり読んだりして、要点を捉えたり、内容について事実や自分の考えなどを伝え合ったり、書いたりすることができる。 【読むことーウ、話すこと [やり取り] ーウ、書くことーウ】 ※SVOO, that節：My father gave me this book. / I think that ~. I am sorry that ~. ●地域・手紙や電子メールのやり取り：身近な人のしたことについて説明する、自分の考えを説明する ★社会（公民）：人権・福祉、介助犬	聞くこと	【知識】 [主語+動詞+間接目的語+名詞・代名詞]の文構造やI think that ~, I'm sorry that ~など接続詞thatを用いた文の特徴やきまりを理解している。 【技能】 [主語+動詞+間接目的語+名詞・代名詞]の文構造やI think that ~, I'm sorry that ~など接続詞thatを用いた文の特徴やきまりの理解を基に、身近な話題についての対話を聞き取る技能を身に付けている。		
											読むこと	【知識】 [主語+動詞+間接目的語+名詞・代名詞]の文構造やI think that ~, I'm sorry that ~など接続詞thatを用いた文の特徴やきまりを理解している。 【技能】 [主語+動詞+間接目的語+名詞・代名詞]の文構造やI think that ~, I'm sorry that ~など接続詞thatを用いた文の特徴やきまりの理解を基に、対話文や短い文章の内容を読み取る技能を身に付けている。	他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、盲導犬や聴導犬などの文章を読んで要点を捉えている。	他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、盲導犬や聴導犬などの文章を読んで要点を捉えようとしている。
											話すこと [やり取り]	【知識】 [主語+動詞+間接目的語+名詞・代名詞]の文構造やI think that ~, I'm sorry that ~など接続詞thatを用いた文の特徴やきまりを理解している。 【技能】 日常的话题や社会的な話題について、自分の考えや気持ちなどをI think that ~, I'm happy that ~などの接続詞thatを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想などをまとめるために、社会的な話題（盲導犬や聴導犬など）に関して読んだことについて事実や考えたことなどを伝え合っている。	友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想などをまとめるために、社会的な話題（盲導犬や聴導犬など）に関して読んだことについて事実や考えたことなどを伝え合おうとしている。
											書くこと	【知識】 [主語+動詞+間接目的語+名詞・代名詞]の文構造やI think that ~, I'm sorry that ~など接続詞thatを用いた文の特徴やきまりを理解している。 【技能】 あることについて自分の考えや気持ちなどを、I think that ~, I'm happy that ~などの接続詞thatを用いて書く技能を身に付けている。	レポートや新聞などに投稿するために、社会的な話題について、読んだりした内容について、自分の考えや感想などを書いている。	レポートや新聞などに投稿するために、社会的な話題について、読んだりした内容について、自分の考えや感想などを書こうとしている。
	1	Review / Task	-	○	○				◎	※既習の言語材料 ●聞き取ったことを要約して書く	書くこと			
		Grammar	-	-	-	-	-	-		※既習の言語材料				

月	課	配当時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)				
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
6月	3	6	Lesson 3 Design in Our Life	1~3	◎	○	◎	○	◎	世の中の役に立つデザインについて話された内容の要点を捉えたり、聞き取ったり読み取ったりしたことについて、考えたことや感じたことなどを述べ合うことができる。 【聞くことーウ、話すこと [やり取り] ーウ】 ※不定詞：I want to have ～. / Some African people use pots to carry water. / I don't have time to watch TV today. ●家庭・学校：自分がしたいことを説明する、理由や目的を説明する、時間やものが何のためか説明する ★社会（公民）：国際社会の抱える問題、国際支援	聞くこと	【知識】 to不定詞を用いた文の特徴やまきを理解している。 【技能】 家庭や学校などの日常的话题について、to不定詞を用いた文の特徴やまきの理解を基に、発話の内容を聞き取る技能を身に付けている。	自分の考えを広げるために、ユニバーサルデザインなどをテーマにしたスピーチを聞いて、その特徴や話し手の伝えたいことなどの要点を聞き取っている。	自分の考えを広げるために、ユニバーサルデザインなどをテーマにしたスピーチを聞いて、その特徴や話し手の伝えたいことなどの要点を聞き取ろうとしている。	
					話すこと [やり取り]	【知識】 to不定詞を用いた文の特徴やまきを理解している。 【技能】 家庭や学校などの日常的话题について、to不定詞を用いた文の特徴やまきの理解を基に、自分のことについて伝えたり、相手に質問したり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、デザインに関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを含めて、伝え合っている。	友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、デザインに関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを含めて、伝え合おうとしている。							
					話すこと [発表]	【知識】 to不定詞を用いた文の特徴やまきを理解している。 【技能】 家庭や学校などの日常的话题について、to不定詞を用いた文の特徴やまきの理解を基に、自分のことを口頭で説明する技能を身に付けている。	教科書の内容を伝えるために、登場人物の経験を説明し、それに関する感想を口頭で説明している。	教科書の内容を伝えるために、登場人物の経験を説明し、それに関する感想を口頭で説明しようとしている。							
					書くこと	【知識】 to不定詞を用いた文の特徴やまきを理解している。 【技能】 家庭や学校などの日常的话题について、to不定詞を用いた文の特徴やまきの理解を基に、自分のことについて正しく書く技能を身に付けている。	/								
1	Review / Task	-	○	○			○	※既習の言語材料 ●聞き取ったことを要約して書く							
	Grammar	-	-	-	-	-	-	※既習の言語材料							
7月	P1	2	Project 1	-	○	○	○	◎	◎	自分のことをクラスメートに知ってもらうために、自分の将来の夢について、理由や気持ちなどをまとめ、まとまりのあるスピーチ原稿を書いて発表したり、クラスメートの発表を聞いて、感想を述べ合ったりすることができる。 【話すこと [発表] ーイ、書くことーイ】 ※既習の言語材料 ●◆学校：将来の夢を発表する、感想を述べる	話すこと [やり取り]	/		クラスメートの夢を確認したり応援したりするため、スピーチを聞いて、友達と感想等を伝え合っている。	クラスメートの夢を確認したり応援したりするため、スピーチを聞いて、友達と感想等を伝え合おうとしている。
					話すこと [発表]	/		自分のことをクラスメートに知ってもらうために、事実や気持ちなどをまとめ、自分の将来の夢についてまとまりのある内容をスピーチ形式で話している。	自分のことをクラスメートに知ってもらうために、事実や気持ちなどをまとめ、自分の将来の夢についてまとまりのある内容をスピーチ形式で話そうとしている。						
					書くこと	/		自分のことをクラスメートに知ってもらうために、事実や気持ちなどをまとめ、自分の将来の夢についてまとまりのある内容を書いている。	自分のことをクラスメートに知ってもらうために、事実や気持ちなどをまとめ、自分の将来の夢についてまとまりのある内容を書こうとしている。						
					読むこと	/		/			ペンギンのことをより深く知るために、簡単な文や語句で書かれている説明文を読み、要点を理解している。	ペンギンのことをより深く知るために、簡単な文や語句で書かれている説明文を読み、要点を理解している。			
R1	4	Reading 1 Six Amazing Things about Penguins	-		◎										

月	課	配当時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●●主な言語の使用場面と言語の働き ◆◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9月	4	6	Lesson 4 Workplace Experience	1~3	○	◎	○		◎	<p>アヤの職場体験についての文章を読んで、要点を捉えたり、自分の職場体験のことを報告するために、職場の特徴やエピソードなどについて整理して、文章を書いたりすることができる。</p> <p>【読むことーウ、書くことーイ】</p> <p>※動名詞, SVOO (O=that節) : I enjoyed working at a bookstore. / Playing tennis is a lot of fun. / Kenta's mother told me that ~.</p> <p>●●学校: 好きなこと, 楽しいことを説明する, だれがどんなことをしたかを伝える</p> <p>★社会(公民): 働くこと, 情報化社会</p> <p>★職場体験: 職場体験の記録・発表</p>	読むこと	<p>【知識】動名詞や[主語+動詞+間接目的語+thatで始まる節]の文の特徴やきまりを理解している。</p> <p>【技能】動名詞や[主語+動詞+間接目的語+thatで始まる節]の文の特徴やきまりの理解を基に、日記などに書かれている短い文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>他者の考えや経験を学ぶために、アヤの職場体験や職業に就いている人が書いた文章について、その要点を読み取っている。</p>	<p>他者の考えや経験を学ぶために、アヤの職場体験や職業に就いている人が書いた文章について、その要点を読み取ろうとしている。</p>
	1	Review / Task	-	○	○		○	○	※既習の言語材料 ●●聞き取ったことを要約して発表する					
			Grammar	-	-	-	-	-	※既習の言語材料					
T3	1		Tips ③ for Writing	-					◎	<p>自分の町についてクラスメートに知ってもらうために、マッピングなどの手法を使い、書く内容や構成などを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>【書くことーイ】</p> <p>※既習の言語材料 ●◆町の特徴を説明する</p>	書くこと		<p>自分の町についてクラスメートに知ってもらうために、書く内容や構成などを整理し、まとまりのある文章を書いている。</p>	<p>自分の町についてクラスメートに知ってもらうために、書く内容や構成などを整理し、まとまりのある文章を書こうとしている。</p>

月	課	配当時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10月	5	6	Lesson 5 How to Celebrate Halloween	1~3	○	◎	◎	○	◎	<p>他の人に伝えるために、ジャック・オ・ランタンづくり方を読んで要点を捉えたり、ハロウィーンやお盆の説明文や対話文を読んで、事実や感じたことなどを、伝え合ったりすることができる。</p> <p>【読むことーイ、話すこと [やり取り] -ウ】</p> <p>※不定詞 (howなど + to do, It ~ to do.) : I know how to make ~. / I didn't know what to do next. / It is interesting to learn about ~.</p> <p>●地域：仕方を説明する, すべきことを説明する, あることが人にとってどうであるか説明する</p> <p>◆季節に応じた日本と外国の行事について知る</p> <p>★社会 (歴史) : ハロウィーンの歴史 (文化の伝播)</p> <p>★社会 (公民) : 異文化交流</p>	聞くこと	【知識】 [主語+動詞 (+間接目的語) +how (など) to不定詞] や [It+be動詞+~ (+for~) +to不定詞] の文の特徴やよさを理解している。 【技能】 [主語+動詞 (+間接目的語) +how (など) to不定詞] や [It+be動詞+~ (+for~) +to不定詞] の文の特徴やよさを理解を基に, 短い対話や説明の内容を聞き取る技能を身に付けている。		
						読むこと	【知識】 [主語+動詞 (+間接目的語) +how (など) to不定詞] や [It+be動詞+~ (+for~) +to不定詞] の文の特徴やよさを理解している。 【技能】 [主語+動詞 (+間接目的語) +how (など) to不定詞] や [It+be動詞+~ (+for~) +to不定詞] の文の特徴やよさを理解を基に, 短い文章の内容を読み取る技能を身に付けている。	知識を得るために, 自国や他国の文化についての説明を読み, どんなどきに何のために行うかなどの要点を理解している。	知識を得るために, 自国や他国の文化についての説明を読み, どんなどきに何のために行うかなどの要点を理解しようとしている。					
						話すこと [やり取り]	【知識】 [主語+動詞 (+間接目的語) +how (など) to不定詞] や [It+be動詞+~ (+for~) +to不定詞] の文の特徴やよさを理解している。 【技能】 教科書の題材 (ハロウィーン) について, to不定詞を用いて伝えたり, 質問したり, 相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	友達の感想を聞いて自分の感想と比べるために, 日本や他国の文化に関して読んだことについて, 事実や感じたことなどを述べ合っている。	友達の感想を聞いて自分の感想と比べるために, 日本や他国の文化に関して読んだことについて, 事実や感じたことなどを述べ合おうとしている。					
						話すこと [発表]		聞いたり読んだりしたハロウィーンのことを他の人に伝えるために, 話の構成を準備し, まとまりのある内容を口頭で説明している。	聞いたり読んだりしたハロウィーンのことを他の人に伝えるために, 話の構成を準備し, まとまりのある内容を口頭で説明しようとしている。					
						書くこと	【知識】 [主語+動詞 (+間接目的語) +how (など) to不定詞] や [It+be動詞+~ (+for~) +to不定詞] の文の特徴やよさを理解している。 【技能】 習っていることなどについて, [主語+動詞 (+間接目的語) +how (など) to不定詞] や [It+be動詞+~ (+for~) +to不定詞] の文を用いて書く技能を身に付けている。							
	1	Review / Task	-	○	○			○	※既習の言語材料 ●聞き取ったことを要約して書く					
		Grammar	-	-	-	-	-	-	※既習の言語材料					
T4	1	Tips ④ for Speaking	-				◎		<p>事物や人物について, 即興で説明することができる。</p> <p>【話すこと [発表] -ア】</p> <p>※既習の言語材料 ●◆学校：人やものについてクイズを出す</p>	話すこと [発表]		分からない単語があってもコミュニケーションを継続するために, 人物や事物などの説明を即興で行っている。	分からない単語があってもコミュニケーションを継続するために, 人物や事物などの説明を即興で行おうとしている。	

月	課	配当 時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点 を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 1 月	6		Lesson 6 Castles and Canyons	1~3	◎	◎	○	○	◎	<p>有名な建造物や観光地の説明を聞いて、その特徴などの要点などを捉えたり、自分が住んでいる都道府県の説明を、簡単な語句や文を用いて書いたりすることができる。</p> <p>【聞くことーウ、書くことーイ】</p> <p>※比較（比較級・最上級）：～ is taller than... / the tallest ~ in... / more interesting than ~. / ~ is the most popular in... / as popular as ~ / like ~ the best.</p> <p>●地域・学校・旅行：複数のものや人を比較して言う、比較した中でいちばんを言う</p> <p>★社会（地理）：アメリカの地理</p> <p>★社会（歴史）：日本の歴史、史跡</p> <p>★遠足・修学旅行：訪問先の紹介</p>	聞くこと	【知識】形容詞や副詞を用いた比較表現の特徴やよさを理解している。 【技能】形容詞や副詞を用いた比較表現の特徴やよさを理解の基に、人物や事物などの説明について聞き取る技能を身に付けている。	話されたことのレポートを書くために、有名な建造物や観光地、スポーツなどの日常的话题の話聞いて、要点を捉えている。	話されたことのレポートを書くために、有名な建造物や観光地、スポーツなどの日常的话题の話聞いて、要点を捉えようとしている。
											読むこと	【知識】形容詞や副詞を用いた比較表現の特徴やよさを理解している。 【技能】形容詞や副詞を用いた比較表現の特徴やよさを理解の基に、人物や事物などの説明について読み取る技能を身に付けている。		
											書くこと	【知識】形容詞や副詞を用いた比較表現の特徴やよさを理解している。 【技能】人物や事物などについて、形容詞や副詞を用いた比較表現を用いて書く技能を身に付けている。	学校のホームページに載せるために、自分の住んでいる都道府県の紹介の記事を、まとまりよく書いている。	学校のホームページに載せるために、自分の住んでいる都道府県の紹介の記事を、まとまりよく書こうとしている。
	1	Review / Task	-	○	○		○	○	※既習の言語材料 ●聞き取ったことを要約して発表する					
		Grammar	-	-	-	-	-	-	※既習の言語材料					
	T5	1	Tips ⑤ for Speaking	-	○			◎	<p>夏休みや今年の一番の思い出などについて、話す内容や順番を書いたメモをもとに、聞き手に分かりやすいスピーチをすることができる。</p> <p>【話すこと [発表] -イ】</p> <p>※既習の言語材料 ●◆学校：夏休み（週末）にしたことを発表する</p>	話すこと [発表]		自分のことを知ってもらうために、夏休みや今年の一番の思い出などについて、話す内容や順番を書いたメモをもとに、聞き手に分かりやすいスピーチをしている。	自分のことを知ってもらうために、夏休みや今年の一番の思い出などについて、話す内容や順番を書いたメモをもとに、聞き手に分かりやすいスピーチをしようとしている。	
	UE	1	Useful Expressions	-		○	○		<p>買い物をするとき、必要なことを伝えるなど店員とのやり取りができる。</p> <p>※既習の言語材料 ●地域・買い物：買い物をする</p>	読むこと	【知識】買い物をするときの表現の意味や働きを理解している。			

月	課	配当時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●●主な言語の使用場面と言語の働き ◆◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)						
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
1 2 月	7	6	Lesson 7 The Gift of Giving	1~3	◎	◎	○	○	◎	キング先生のクリスマス・カード、アヤのサンタ・ラン、ポプのクラス新聞の記事などを读んだり聞いたりして、概要を理解することができる。 【聞くことーイ、読むことーイ】 ※受け身：This card was printed in 1843. / Was this photo taken in ~? / Where was this photo taken? / Money should be spent wisely. ●●学校：ものについて説明する [たずねる]，できごとの行為者を説明する ★社会（公民）：国際支援，チャリティー	聞くこと	【知識】受け身の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】受け身の文の特徴やきまりの理解を基に、ものや建物などの説明を聞いて、理解する技能を身に付けている。	場面や状況を把握するために、英文の内容から、概要を聞き取っている。	場面や状況を把握するために、英文の内容から、概要を聞き取ろうとしている。			
					1	Review / Task	-	○	○			○	※既習の言語材料 ●●必要な情報を聞き取る	書くこと	【知識】受け身の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】建物やイベントなどについて、受け身の文を用いながら書く技能を身に付けている。	自分の意見や感想を知ってもらうために、教科書で読んだことに関連して、自分の経験や感想を書いている。	自分の意見や感想を知ってもらうために、教科書で読んだことに関連して、自分の経験や感想を書こうとしている。
						Grammar	-	-	-	-	-		※既習の言語材料				
	P2	2	Project 2	-			○			◎	自分の行ってみたいところをクラスメートに紹介するために、読み手にわかりやすい順番でまとまりのある文章を書くことができる。 【書くことーイ】 ※既習の言語材料 ●◆地域：行ってみたい名所を紹介する	書くこと		自分の行ってみたいところをクラスメートに紹介するために、読み手にわかりやすい順番でまとまりのある文章を書いている。	自分の行ってみたいところをクラスメートに紹介するために、読み手にわかりやすい順番でまとまりのある文章を書こうとしている。		
					R2	5	Reading 2 Stone Soup	-		◎			文章の大まかな流れを時間軸に沿って書きまとめるために、Stone Soupを読んで、概要を捉えることができる。 【読むことーイ】 ※既習の言語材料 ●◆物語（絵本）を読む	読むこと		文章の大まかな流れを時間軸に沿って書きまとめるために、物語の概要を捉えている。	文章の大まかな流れを時間軸に沿って書きまとめるために、物語の概要を捉えようとしている。

月	課	配当時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					1 月	8	6	Lesson 8 Rakugo in English	1~3		◎	◎		◎
読むこと	【知識】 [主語+動詞 (+間接目的語) +whatなどで始まる節] の文や感嘆文の特徴やきまりを理解している。 【技能】 [主語+動詞 (+間接目的語) +whatなどで始まる節] の文や感嘆文の特徴やきまりの理解を基に、ある人物の知っていることや知らないことなどについて読み取る技能を身に付けている。													
話すこと [発表]	【知識】 [主語+動詞 (+間接目的語) +whatなどで始まる節] の文や感嘆文の特徴やきまりを理解している。 【技能】 知っていることや知らないこと、驚いたことなどについて、 [主語+動詞 (+間接目的語) +whatなどで始まる節] の文や感嘆文を用いて口頭で説明する技能を身に付けている。	落語や桂かい枝氏について、感想などを友達に伝えるために、読んで分かったことや感想などを整理し、発表している。	落語や桂かい枝氏について、感想などを友達に伝えるために、読んで分かったことや感想などを整理し、発表しようとしている。											
書くこと	【知識】 [主語+動詞 (+間接目的語) +whatなどで始まる節] の文や感嘆文の特徴やきまりを理解している。 【技能】 知っていることや知らないこと、驚いたことなどについて、 [主語+動詞 (+間接目的語) +whatなどで始まる節] の文や感嘆文を用いて書く技能を身に付けている。													
1	Review / Task	-	○	○			○	○	※既習の言語材料 ●聞き取ったことを要約して発表する					
	Grammar	-	-	-		-	-	-	※既習の言語材料					
T6	1		Tips ⑥ for Reading	-		◎	○			重要な情報を得るために、ポスターや掲示から自分に必要な情報を捉えることができる。 【読むことーア】	読むこと		重要な情報を得るために、ポスターや掲示から自分に必要な情報を捉えている。	重要な情報を得るために、ポスターや掲示から自分に必要な情報を捉えようとしている。

月	課	配当 時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点 を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					2 月	9	6	Lesson 9 Gestures and Sign Language	1~3		◎	○	○	◎
読むこと	<p>【知識】動詞makeやcallなどを用いた【主語+動詞+目的語+名詞・形容詞】、【主語+tell, wantなど+目的語+to不定詞】、動詞letやhelpを用いた【主語+動詞+目的語+原形不定詞】の文の特徴やきまりを理解している。</p> <p>【技能】動詞makeやcallなどを用いた【主語+動詞+目的語+名詞・形容詞】、【主語+tell, wantなど+目的語+to不定詞】、動詞letやhelpを用いた【主語+動詞+目的語+原形不定詞】の文の理解を基に、誰がどうするなどの情報を読み取る技能を身に付けている。</p>													
話すこと 【発表】	<p>【知識】動詞makeやcallなどを用いた【主語+動詞+目的語+名詞・形容詞】、【主語+tell, wantなど+目的語+to不定詞】、動詞letやhelpを用いた【主語+動詞+目的語+原形不定詞】の文の特徴やきまりを理解している。</p> <p>【技能】誰がどうしたなどの情報について、動詞makeやcallなどを用いた【主語+動詞+目的語+名詞・形容詞】、【主語+tell, wantなど+目的語+to不定詞】、動詞letやhelpを用いた【主語+動詞+目的語+原形不定詞】の文を用いて口頭で説明する技能を身に付けている。</p>	他者に伝えるために、手話について書かれた文章を読んで、日本の手話とアメリカの手話の違いや感想などを口頭で説明している。	他者に伝えるために、手話について書かれた文章を読んで、日本の手話とアメリカの手話の違いや感想などを口頭で説明しようとしている。											
書くこと	<p>【知識】動詞makeやcallなどを用いた【主語+動詞+目的語+名詞・形容詞】、【主語+tell, wantなど+目的語+to不定詞】、動詞letやhelpを用いた【主語+動詞+目的語+原形不定詞】の文の特徴やきまりを理解している。</p> <p>【技能】誰がどうしたなどの情報について、動詞makeやcallなどを用いた【主語+動詞+目的語+名詞・形容詞】、【主語+tell, wantなど+目的語+to不定詞】、動詞letやhelpを用いた【主語+動詞+目的語+原形不定詞】の文を用いて書く技能を身に付けている。</p>													
		1	Review / Task	-	○	○		○	※既習の言語材料 ●聞き取ったことを要約して書く					
			Grammar	-	-	-	-	-	※既習の言語材料					

月	課	配当時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●●主な言語の使用場面と言語の働き ◆◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3月	P3	2	Project 3	-		○	○	◎	○	友達に日本文化について紹介するために、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある内容を話すとともに、友達の紹介を聞いて、考えたことや感じたことなどを伝え合うことができる。 【話すこと [発表] -イ】 ※既習の言語材料 ●◆学校：日本文化を紹介する	話すこと [やり取り]		友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想などをまとめるために、友達が日本文化を紹介したことについて考えたことや感じたことなどを伝え合っている。	友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想などをまとめるために、友達が日本文化を紹介したことについて考えたことや感じたことなどを伝え合おうとしている。
											話すこと [発表]		友達に日本文化についてより知ってもらうために、日本文化について、自分の感想を含めて発表している。	友達に日本文化についてより知ってもらうために、日本文化について、自分の感想を含めて発表しようとしている。
												書くこと		友達に日本文化についてより知ってもらうために、日本の文化について、事実をまとめ、まとまりのある記事を書いている。
3月	R3	5	Reading 3 The Gift of Tezuka Osamu	-			◎			物語 (The Gift of Tezuka Osamu) を読んで、物語を他の人に伝えるために、時間の流れに沿って出来事を理解しながら事実や書き手の伝えたいことを理解することができる。 【読むこと -イ・ウ】 ※既習の言語材料 ●伝記を読む ★社会 (歴史) : 第二次世界大戦 ★社会 (公民) : 平和	読むこと		手塚治虫について他の人に伝えるために、手塚治虫について書かれた文章を読んで、時間の流れに沿って出来事を理解しながら、事実や書き手の伝えたいことを理解している。	手塚治虫について他の人に伝えるために、手塚治虫について書かれた文章を読んで、時間の流れに沿って出来事を理解しながら、事実や書き手の伝えたいことを理解しようとしている。
	FR	5	Further Reading Somebody Loves You, Mr. Hatch	1~5			◎			物語 (Somebody Loves You, Mr. Hatch) を読んで、時間の流れに沿って出来事を理解したり登場人物の心情を捉えながら概要や要点を捉えることができる。 【読むこと -イ・ウ】 ※既習の言語材料 ●物語を読む	読むこと		物語を楽しむために、Somebody Loves You, Mr. Hatchを、時間の流れに沿って出来事を理解したり登場人物の心情を理解しながら読み進め、概要や要点を捉えている。	物語を楽しむために、Somebody Loves You, Mr. Hatchを、時間の流れに沿って出来事を理解したり登場人物の心情を理解しながら読み進め、概要や要点を捉えようとしている。
通年	AP	帯活動	Activities Plus	1~5	○	○	◎	◎		様々な話題について、相手からの質問に対し、複数の文で答えることができる。 【話すこと [やり取り] -イ】 様々な日常的な話題について、情報を加えて応答したり、適切な質問をしながら、チャットを継続することができる。 【話すこと [やり取り] -ア】 様々な話題について、簡単な文や語句を用いて即興で話すことができる。 【話すこと [発表] -ア】 ※既習の言語材料 ●◆学校：質問する、応答する、自分のことや自分の考えを伝える	話すこと [やり取り]	【知識】疑問文の意味を理解しているとともに、質問に対する応答の仕方を理解している。 【技能】相手からの質問の意味を捉え、正しい文で答えるとともに、関連する情報を付加して応答する技能を身に付けている。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答している。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答しようとしている。
												【知識】疑問文のきまりや特徴を理解している。 【技能】疑問文のきまりや特徴の理解を基に、正しい文で質問する技能を身に付けている。	お互いのことを理解し合うために、日常的な話題について、情報を加えて応答したり、適切な質問をしたりしながら、チャット (おしゃべり) を継続している。	お互いのことを理解し合うために、日常的な話題について、情報を加えて応答したり、適切な質問をしたりしながら、チャット (おしゃべり) を継続しようとしている。
											話すこと [発表]	【知識】英文の語順のきまりを理解している。 【技能】英文の語順のきまりの理解を基に、正しい文で話す技能を身に付けている。	自分のことをより知ってもらうために、様々な日常的な話題について、簡単な語句や文を使って数文程度のことを即興で話している。	自分のことをより知ってもらうために、様々な日常的な話題について、簡単な語句や文を使って数文程度のことを即興で話そうとしている。

(計100)